

教科名	芸術	科目名	琉球舞踊	単位数	4単位	対象	郷土文化コース1年生
科目の分類	原則履修科目(選択授業)		履修順序		1年生～3年生まで3年間、継続的に学ぶ		
科目の目標	1、沖縄の音楽になれ、基本的所作を習得する。 2、郷土文化の歴史に興味・関心を持つ。 3、豊かな心を養い、自ら学ぶ意欲を育て、郷土文化の継承・発展に寄与する生徒を育てる。						
教材	1、琉球舞踊曲大全集(野村流・安富祖流)ほか 2、琉球舞踊入門編 著 儀保榮治郎 3、琉球舞踊の世界～私の鑑賞法～ 著 勝連繁雄						
学習のポイント	○ 最初の授業2時間を使って、三線・琉球舞踊・空手古武術を体験し、自分にあった科目を選択する。 ○ 琉球音楽のリズムになれる。 ○ 琉歌に親しむ。						
到達目標	○ 琉球音楽のリズムになれ、踊ることができる。 ○ 琉歌と琉球音楽の関係を知る。 ○ 着物(バサー類)を着ることができる。						
評価の方法	○ 実技テスト(中間テスト・期末テスト等) ○ 授業態度 ○ 勤怠状況・服装等						
学習展開(年間指導計画の概要)							
	単元または項目	学習のねらい			主な学習活動(教材等)		
1 学期 前半	・年間授業計画 ・自分にあった稽古着を見つけてよう ・リズムに合わせて歩こう ・簡単な所作を覚えよう 祝節 黒島口説	○ 3つ分野を体験し、郷土の文化にふれる。 ○ 自分の寸法を知る ○ リズムになれる ○ 簡単な所作を覚える			○ 三線、琉球舞踊、空手・古武術の3つを体験し、選択クラスを決める ○ 自分の寸法を測る ○ 見本の稽古着やパンフレットなどから自分にあった稽古着等をさがす ○ 琉球音楽に合わせて、体を動かす		
中間テスト(リズムとり・黒島口説)							
1 学期 後半	・琉球音楽になれよう ・所作を覚えよう 祝節 ・稽古着の着方を知る ・ビデオ撮影・鑑賞	○ リズムよく動くことができる ○ 所作の組み立てをしる ○ 基本的所作を知る ○ 一人で着ることができる ○ 自己をみつめる			○ テンポの速い音楽に合わせて踊る ○ 基本的所作を区切って行い、組み立てながら習得する ○ 稽古着の着方、帯の締め方、たたみ方などを実際に体験する ○ 学期で学んだことをビデオにおさめる		
期末テスト(祝節・稽古着の着方)							
2 学期 前半	・琉球舞踊になれよう 古典舞踊：四ツ竹 ニオゼイ ・着付けをしよう 紅型・紫の締め方	○ 琉球古典舞踊をしる ○ 琉球舞踊の簡単な歴史をしる ○ 琉球舞踊の衣装を着ることができる			○ 『琉球舞踊入門編』(著 儀保榮治郎)から琉球古典舞踊をみつけ、歴史等を知り ○ ビデオを鑑賞し、曲のイメージをつかむ ○ 紅型・トウジン・カカン・紫を使い、実際に身にまとう		
中間テスト(四ツ竹・紅型の着付け)							
2 学期 後半	・琉球舞踊になれよう 古典舞踊：ニオゼイ ・ビデオ鑑賞・撮影 ・民俗芸能になれよう エイサー	○ 琉球古典舞踊の種類をしる 男踊りと女踊りの違い等 ○ 自分の癖などをしり、自己の課題にすることができる ○ 古典舞踊と民族舞踊の違いをしる			○ 小道具の扱いに重点を置く ○ いくつかのビデオを鑑賞し、自己の動きとみ比べ、自分なりの課題をたてる ○ 自己の課題を意識しながら踊る ○ 新作エイサーに挑戦し、体を動かす ○ エイサーのビデオ鑑賞		
期末テスト(紅型の着付け・紫の締め方・ニオゼイ)							
3 学期	・創作舞踊になじもう めでたい節 ・ビデオ鑑賞 ・1年間のまとめ	○ 琉球舞踊の種類を知る 古典舞踊と違い等 ○ 今まで撮影したビデオをまとめ、自分の成長をしる ○ 1年間を振り返り目標を立てる			○ 先輩のビデオ(自主公演・卒業式)を鑑賞し、曲のイメージを描きながら、独自の隊形を考える ○ 『琉球舞踊入門編』(著 儀保榮治郎)から、今まで習った曲の歌詞等をまとめる		
学年末テスト(めでたい節・着付け・感想まとめ)							